草木に話しかけるカライ

Ursula Nafula
Jesse Pietersen
Aiko Komatsu
japanska
nivå 2

(utan bilder)

この子はカライ、７歳の女の子です。カライの名前はカライの国の言葉のブクス語で「良いもの」という意味です。

カライは起きるとオレンジの木に話しかけます。「お願い、オレンジの木。大きく育って、私たちにたくさんの熟れたオレンジをちょうだいな」

カライは学校まで歩いて行きます。歩きながら、カライは草に話しかけます。「お願い、草たち、もっと濃い緑になってね。カラカラに乾いたりしないでね」

カライは野の花のそばを通ります。「お願い、花たち、ずっと咲いていてね。私が髪に飾れるように」

学校では、カライは校庭の真ん中にある木に話しかけます。「お願い、樹木さん、枝を大きく広げてね。私たちが木陰で本を読めるように」

カライは学校の周りをめぐる生け垣にも話します。「お願い、強く育ってね。悪い人たちが中に入ってこられないように」

カライは学校から家に帰ると、オレンジの木のところへ行き訪ねます。「オレンジの木さん、あなたの実は熟れたかしら？」とカライは尋ねます。

「オレンジの実はまだ青いわ」と、カライはため息をつきます。「また明日ね、オレンジの木さん」とカライは言います。「多分その時には私のために熟したオレンジを用意してくれるわよね！」

Sagor för barn på svenska

berattelser.se

草木に話しかけるカライ

Skriven av: Ursula Nafula
Illustrerad av: Jesse Pietersen
Översatt av: Aiko Komatsu

Denna saga kommer från African Storybook (africanstorybook.org) och vidarebefordras av Sagor för barn på svenska (https://berattelser.se/), som erbjuder sagor på månge språk som talas i Sverige.

Detta verk är licensierat under en Creative Commons
Erkännande 4.0 Internasjonal Lisens.